

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	大学改革研究委託事業		担当部局庁	高等教育局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	大学振興課大学改革推進室	大学振興課長	藤原 章夫	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>国を挙げて取り組むべき大学教育の改革課題に機動的に対応するため、専門的知見を持つ研究者を有する大学等に、(1)中教審等の審議に資する専門的な調査研究、(2)政策目標、提言内容等の具体化、実質化を図るために必要な方策に関する調査研究、(3)その他実態把握等の調査研究を必要とする政策課題等を委託し、質の高い情報等を効率的に収集する。その成果を今後の高等教育行政施策の企画立案及び改善に資するとともに、成果を広く公表することにより、各大学の取組を支援・促進し、大学改革の一層の推進と教育の質の向上を図ることを目的とする。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>平成22年度の事業は大きく、(1)大学改革推進委託、(2)障害学生受入促進研究委託、(3)大学における医療人養成等委託に分かれる。いずれも、国公立の大学(短期大学を含む)、独立行政法人、学協会、民間の調査研究機関等を対象に、調査研究テーマの実施計画を公募し、応募のあった実施計画について、外部の有識者・専門家等で構成される選定委員会により、実施方法、事業計画、実施体制等の審査(企画競争)を行う。選定した実施計画については、文部科学省と委託機関の長との間で委託契約を締結し、業務計画書に基づき事業を実施する。なお、(2)については、平成20年度からの継続分のみであり、新規公募は行っていない。</p> <p>【参考】H22新規実施テーマの例： (1)国費外国人留学生制度の成果・効果に関する調査研究 (2)医学・歯学教育の改善・充実に関する調査研究 (3)福祉系大学における人材養成機能向上のための教育方法に関する調査研究 ほか新規9テーマ(計12テーマ)、前年からの継続11テーマの合計23テーマを実施。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	289	295	279	178	160
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	289	295	279	178	160
	執行額	234	256	221	-	-	
	執行率(%)	81.0%	86.8%	79.2%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は大学改革における諸課題に対応するため政策上必要な調査研究を実施し、施策として反映させることを目的としており、定量的な指標を成果目標として掲げることは困難である。		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	新規採択件数 (大学改革推進委託に係るもののみ)		(件)	9	16	12	- (15) (7)
	成果報告書公表件数 (http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/index.htm に掲載)(大学改革推進委託に係るもののみ)		(件)	H20終了分 13	H21終了分 6	H22終了分 10	
単位当たりコスト	777 (万円/件)		算出根拠	平成22年度執行総額(178,731千円)÷採択件数(23件) ※(1)大学改革推進委託の実施テーマ全体で算出			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	大学改革推進委託費	173百万円	151百万円				
	大学改革研究委託事業事務費	5百万円	9百万円				
	計	178百万円	160百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・当初計画よりもテーマ件数を絞り込んだため決算不用が生じている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・本事業の調査結果は、高等教育行政施策の企画立案や予算への反映などに活用されている。なお、年度毎に政策課題が様々であり、年度当初からの速やかな実施が課題であり、計画的に調査研究テーマを設定することが必要である。</p> <p>・経費の執行に関しては、事業年度毎に委託先から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。</p> <p>・なお、委託調査業務に関する全般的な見直しの中で、平成23年度においては、大学改革推進委託における実施テーマ数の見直し(予算上、26件→16件)や実施計画年度を終えた事業の廃止といった見直しを行い、事業規模の縮小を行っている。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>1. 事業評価の観点：この事業は、今後の高等教育行政施策の企画立案及び改善に資することを目的とした調査研究事業であり、長期継続事業及び契約・執行手続きの観点から検証を行う。</p> <p>2. 所見：本事業は、事業開始からすでに6年が経過しており、様々な取組による成果が蓄積されていると考えられ、今後は、真に調査研究が必要なテーマに絞り込むなど、予算の見直しを図るべきである。 また、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		<p>平成22年度契約金額に基づく単価の見直しを行い、概算要求に▲21百万円反映した。 また、契約の競争性、公平性、透明性の確保については、平成22年度執行から公募期間の適正化(20日間以上)を行っているほか、平成23年度途中からは従来の企画競争を総合評価入札方式に変更することを予定している。</p>	
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
221百万円

- ・ 諸謝金 0.6百万円
 - ・ 職員旅費 1.2百万円
 - ・ 庁費 6.5百万円
- を含む。

新たな教育手法の開発や具体的な導入方法等の先導的調査研究を委託し、成果を高等教育行政施策の企画立案及び改善に資するとともに、成果を広く公表。

【公募・企画競争】

【公募・企画競争】

【公募・企画競争】

大学改革推進委託
A. 大学、研究所、学協会、民間調査研究機関等（全24件）
179百万円

障害学生受入促進研究委託
B. (独)日本学生支援機構
11百万円

大学における医療人養成推進等委託
D. 大学、独立行政法人、学協会、民間の調査研究機関等(全6件)
23百万円

諸外国における大学の質保証及び学位プログラムの在り方やアジア各国の単位互換に関する調査研究等を実施。受託機関は、高等教育制度についての識見を有する複数のメンバーを編成し事業を実施。

障害のある生徒の進学のための高大連携の在り方に関する調査研究を実施。各再委託先の調査結果を集約し、研究成果を全国の大学、教育委員会等に周知する。

薬学6年制化による実務実習の在り方に関する調査研究を実施。受託機関は、高等教育制度についての識見を有する複数のメンバーを編成し事業を実施。

【随意契約・再委託】

C. 大学(全7機関)
9百万円

(独)日本学生支援機構に委託した事業計画のうち、高校教職員・生徒へのアンケート調査等により、高機能発達障害学生が望む高大連携の在り方と大学の受け入れ体制に関する実証的研究を分担する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 国立大学法人 東京工業大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	外国調査旅費 等	8			
事業活動費	報告書印刷、PCソフト、テープ起こし等	6			
人件費	会議講演謝金、非常勤職員給与、データ解析謝金	4			
計		18	計		0
B.(独)日本学生支援機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
再委託費	再委託(富山大学 外6大学)	9			
事業活動費	報告書印刷・発送、会場借料 等	1			
その他	発表会謝金、国内旅費 等	1			
計		11	計		0
C.国立大学法人 富山大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事務補佐員給与	1			
その他	国内調査旅費、消耗品	0.1			
計		1	計		0
D.一般社団法人薬学教育協議会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	事前学習と連携に関する委員会報告書等	2			
事業活動費	事前学習・指導体制に関する委員会会場借料等	1			
旅費	事前学習・指導体制に関する委員会	1			
計		4	計		0

支出先上位10者リスト

A.大学改革推進委託

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人 東京工業大学	OECD高等教育における学習成果の評価(AHELO)フィージビリティ・スタディの実施の在り方に関する調査研究	18	企画競争	-
2	学校法人目白学園 目白大学短期大学部	短期大学における今後の役割・機能に関する調査研究	13	企画競争	-
3	国立大学法人 鳴門教育大学	教員養成に関するモデルカリキュラムの作成に関する調査研究	12	企画競争	-
4	国立大学法人 東京学芸大学	課程認定大学における評価団体と連携した教員養成に関するモデルカリキュラムの作成に関する調査研究	12	企画競争	-
5	国立大学法人 東京大学	医学・歯学教育の改善・充実に関する調査研究	12	企画競争	-
6	放送大学	ICT活用教育の推進に関する調査研究	12	企画競争	-
7	株式会社 日本総合研究所	博士課程修了者の進路実態に関する調査研究	12	企画競争	-
8	学校法人 早稲田大学	新たな法曹養成プロセスの有機的連携に関する調査研究	11	企画競争	-
9	国立大学法人 東京大学	獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに関する調査研究	10	企画競争	-
10	株式会社 日本経済研究所	大学の教育研究が地域に与える経済効果等に関する調査研究	9	企画競争	-

B.障害学生受入促進研究委託

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	独立行政法人 日本学生支援機構	障害のある生徒の進学・支援のための高大連携の在り方に関する調査研究	11	企画競争	-

C.障害学生受入促進研究委託:再委託分

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	国立大学法人 宮城教育大学	特別支援学校における事例を中心とした調査研究	1	随意契約	-
2	国立大学法人 筑波大学	大学における障害学生支援と高校段階での支援・指導との連続性に関わる調査研究	1	随意契約	-
3	国立大学法人 東京大学	障害のある学生への高等教育における合理的配慮の妥当性に関する調査研究	1	随意契約	-
4	国立大学法人 富山大学	高機能発達障害学生が望む高大連携の在り方と大学の受入体制に関する実証的研究	1	随意契約	-
5	学校法人 同志社	大学での講義保障体験の有無による進学意欲の影響に関する比較調査	1	随意契約	-
6	学校法人 関西学院	大学間ならびに高校・大学間の地域的ネットワーク作りに関する調査研究	1	随意契約	-
7	国立大学法人 広島大学	中等教育と高等教育を滑らかにつなぐ、最適な評価方法とユニバーサルな教育・情報支援の研究	1	随意契約	-

※四捨五入の関係で計数は一致しない。

D.大学における医療人養成推進等委託

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	一般社団法人薬学教育協議会	薬学教育における現状と課題に関する調査研究	4	企画競争	-
2	学校法人東京薬科大学	薬学教育における現状と課題に関する調査研究	4	企画競争	-
3	一般社団法人薬学教育協議会	薬剤師養成のための薬学教育における実務実習期間の延長に伴う指導体制等の在り方に関する調査研究	4	企画競争	-
4	国立大学法人東京大学	薬剤師養成のための薬学教育における実務実習期間の延長に伴う指導体制等の在り方に関する調査研究	4	企画競争	-
5	学校法人東京理科大学	薬剤師養成のための薬学教育における実務実習期間の延長に伴う指導体制等の在り方に関する調査研究	4	企画競争	-
6	学校法人神戸学院	薬学教育における現状と課題に関する調査研究	2	企画競争	-

※四捨五入の関係で計数は一致しない。